

【清須市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「Society5.0時代」の到来によりAI等の先端技術が社会のあらゆる場面に浸透し、私たちの生活に様々な変化をもたらしています。予測困難なこれからの時代を生きる子どもたちには、多様な価値観を尊重し支え合うとともに、社会の変化を柔軟に受け止めて主体的に学びを続けていくことが求められています。

また、「令和の日本型学校教育」の答申では、ICTを「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に必要不可欠なツールであるとしています。

本市ではこれらを念頭に、ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成に向けて取り組んでまいります。

2. GIGA第1期の総括

本市は令和2年度にGIGAスクール構想に基づく1人1台のタブレット端末を整備し、令和3年度から本格的に運用しています。また、タブレット端末を用いた効果的な学習ができるよう、Microsoft365、授業支援ソフトやドリルソフト、各教室には大型提示を導入しました。さらに教育支援（ふれあい）教室にはモバイルルータを導入しました。これらを導入したことにより、インフルエンザ等による学級閉鎖や出席停止時や学校に通えない（通いづらい）児童生徒でも学びが止まることが少なくなりました。

令和5年度には、既存の回線を10GBに拡充したことで、タブレット端末を用いた学習が今までより円滑に行えるようになりました。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持し、利活用については以下のとおり取り組みます。

(1) 1人1台端末の積極的活用

教員がICT活用の目的を理解し、ICT活用指導力を向上できるように、ICT活用に関する研修等を計画的・定期的を実施します。また、清須市教育ICT推進委員会（年3回程度）においても、各学校の好事例を共有し、教員のICT活用指導力の向上に努めます。

ICT機器に造詣が深く、教育内容や教材の知識も有するICT支援員を継続的な配置（4校に1人のICT支援員）に向けて取り組みます。

また、タブレット端末の家庭への持ち帰りを日常化し、Microsoft365、学習者用デジタル教科書、授業支援ソフト、ドリル教材等を校内及び家庭学習で活用します。また、プログラミング教材の導入については継続的に検討します。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒が自分で調べる場面や、自分の考えをまとめ、発表・表現する場面においては、タブレット端末に導入した各種ソフト等をフル活用し、協働的な学びを実現します。

(3) 学びの保障

Microsoft 365（Web 会議システム）や授業支援ソフトを活用したオンライン学習により学校と学校外をつなぎ、学校に通えない子やインフルエンザ等の感染症をはじめ、様々な事情により教室で学ぶことができない児童生徒に対しても学びを止めない学習環境の整備に引き続き努めます。